

教科	自立活動	単元名	さまざまな操作スキルを身につけよう
----	------	-----	-------------------

本時のねらい

・自分に合った表現方法を選び、自分の思いや考えを相手に伝えることができる。

本時における1人1台端末の活用方法とそのねらい

・自分の考えなどを、音声入力を利用して表現する。
 ・文章の入力方法について様々な手段を知り、自分に合った方法を選択することで、言語活動の支援を行う。

本時で育む主な情報活用能力

J-STEP4

該当番号の詳細内容は
「大阪府情報活用能力
ステップシート」から確認できます。



活用したICT機器・デジタル教材・コンテンツ等

・タイピング練習ソフト(ブラウザアプリ「寿司打」) ・Google クラウドスライド ・Google スライド ・モニター

本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	ICT活用のポイント・工夫
導入 (15分)	<ul style="list-style-type: none"> ○タイピング練習(ブラウザアプリ「寿司打」)をする。 ○本時のねらいを確認する。 本時のめあて：自分の考えたことを自分に合った方法でパソコンに表現しよう。 ○本時の学習の流れを確認する。 ○文章を表現するさまざまな方法を確認する。 (紙に書く、タイピング、音声入力 等) <p style="text-align: right;">【写真1】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自分のペースでタイピング練習をすることができる。 ・音声入力の機能(自分の話した言葉がそのままパソコンの画面に表示される)について知る。
展開 (30分)	<ul style="list-style-type: none"> ○ソーシャルトレーニングを行う。 ・自分の「昨日のできごと」を思い出す。 ・思い出した内容をスライドに整理する。 「タイピング」か「音声入力」か、入力方法を自分で選択する。 ・わかりやすいスライドにするための方法を考える。 文章に関係のある画像やイラストを検索・挿入する。 <p style="text-align: right;">【写真2】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・入力が苦手な生徒でも、自分の気持ちや考えを、音声入力することで表出しやすくなる。 ・スライドで編集することで、修正することへの抵抗が軽減される。
まとめ (5分)	<ul style="list-style-type: none"> ○作成したスライドを振り返る。 ・スライドをモニターに映して説明する。 ・この時間の作業で、うれしかったこと、難しかったことなどを振り返る。 <p style="text-align: right;">【写真3】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・モニターに大きく映し出すことで、見やすく客観的にとらえることができる。

1人1台端末を活用した活動の様子



【写真1】タイピング練習に挑戦する姿



【写真2】Google スライドを使って自分の考えなどを音声入力する。



【写真3】大きく映して作成したスライドの振り返りをする。

児童生徒の反応や変容

本授業の生徒は、表現する手段として「書くこと」、「タイピング入力」を極端に嫌がる傾向があるが、授業の序盤は、苦手なタイピング練習を苛立ちながらも一生懸命に取り組む姿が見られた。その上で、音声入力の方法を伝え、自分が伝えたい内容がタブレット上にどんどんと表現されることに、とてもうれしい表情を見せ、自分からどんどんとスライドを作成するようになった。また、本実践以降、様々な授業で「音声入力」を活用し、自分の意見をどんどんと発表する姿が見られるようになった。

授業者の声～参考にしてほしいポイント～

生徒の特性に応じて表現する手段として、「音声入力」はとても効果的であった。自分の考えを表出できた成功体験が、学習意欲の向上につながった。様々な表現方法を伝え、その上で、自分の特性に合った方法を選択させることが、より良い自立に向けての支援へとつながることが改めてわかった。